

高口 ようこ

かわら版
@
小竹町
kotakecho

はじめまして、高口ようこです。
住んでいるまちを大切に。皆さんのお声を
しっかり受け止め、届ける議員を目指します。



こどもと、
未来のこと。



高口ようこ
だから
できること

- ママに身近な議員に！
- 区政をわかりやすく！
- 多世代をつなぐ！



高口ようこ（旧姓：荒川）プロフィール
練馬区議会議員補欠選挙・予定候補（市民の声ねりま）
1980年、桜台に生まれ育つ。現在は小竹町在住。開進第三小・中、都立大泉高校と練馬で青春を過ごし、
自他ともに認めるねりま愛を育む。慶應義塾大学文学部卒。現在はフリーのライターとして、子育て・
教育分野、練馬地域の取材など活動の場を広げる。

多世代が、ゆるやかにつながるまちにしたい！



息子が1歳の時、3.11が…
顔の見えるつながりの
大切さを痛感しました

提案！ 少子高齢化の時代…
安心して暮らせる

在宅医療・介護の充実を

一昨年、末期がんの夫を見取りました。在宅医療・介護を受け、夫は前日まで自宅で過ごすことができました。最後まで、住み慣れた自宅で、望む暮らしができるように。在宅医療や介護を、充実させていきます。

小竹図書館に通った 子ども時代の思い出

小竹図書館に週3回通ったこともある子ども時代。江古田でピアノを習った時期も。今も小竹町を歩くと、懐かしい気持ちに…。このまちの“文化”に育てられました。

提案！ 増える人口…

防犯・防災力をUP！

副都心線の開通により便利になり、新しい住民が増える小竹町。いざという時、助け合うためには、顔の見える関係が欠かせません。空き家を活用したコミュニティハウスなど、まちをつなぐ取り組みに注力します。



小竹向原駅のエレベーター設置など…
住民だからわかる
“困った”に取り組みます！

小竹町で、 2児の子育ての真っ最中！

2人の子どもが、りっこう幼稚園、小竹小にお世話になっています。子ども達を見守ってくれるコミュニティと環境…。子育てのしやすい、親子に優しいまちです！

提案！ 居場所が少ない…

のびのび過ごせる場を！

公共施設が少なく、広い公園もない…。まちの文化や、地域資源を活かしながら、居心地のいい居場所をつくります。地域コミュニティをさらに豊かにし、より安全で子育てもしやすいまちにしていきます！

まちが温かい… 小竹の魅力と可能性

小竹町のガイドブック「こたけぐらし」や、イベント「こたけあそび」に参加。親子の遊び場「こたけひろば」も中心になって開催中。町会を軸に、多世代がつながり、輪が広がる…小竹町の“地域力”を実感中です！

区議会議員 池尻成二も
応援しています！



地域の声を!! 小竹小・旭丘小・旭丘中の統廃合

反発を生んだ、区の対応

「3校を小中一貫教育校にし、今の旭丘小中の位置に建て替える」という区の対応方針案。説明会が開かれたのは、2016年末。反対多数にも関わらず、直後に区は「リーディングプロジェクト」と位置づけ、区報に発表。地域の声を無視したやり方が強い反発を呼び、3000人を越す署名を添えて、小竹小存続を求める陳情が区議会に出されました。



地域が分断された…

統廃合の理由とされる「過小規模校」に該当しない小竹小。長年守ってきた地域の皆さんの反対は、当然です。区が丁寧に進めず、話し合う姿勢を持たないために、地域に溝が“作られ”ました。すべての子ども達を大切にするため、皆で話し合うべき問題なのに、タブーのような空気も…。子どもを守るのは、地域。トップダウンでいい学校はできません。

小竹小の建て替え、待ったなし！

2017年末、再び開かれた説明会でも、区の方針は変わらず。小中一貫校のメリットも不透明なまま。一方、同月発表の「公共施設等総合管理計画（素案）」では、2022年度までの計画が「調整」に変更に。完成まで6～7年かかるので、その頃小竹小は築70年程！区は耐用年数を「60年」と説明しています。もし災害が起きたら…？不安が募ります。



小学校は、“特別な場所”

義務教育の公立小は、子どもを通して自然と地域がつながる、コミュニティの拠点。小学校があるから防犯に力が入り、災害時は避難拠点になります。小学校の有無は、安全・安心を含め、地域全体に大きく影響するのです。

小中一貫教育校のデメリット

WHOが推奨する1学校の児童数は、100～200人。日本の学校は、元々「大きすぎ」ます。3校が統合すると、小学校で約600人。小中合わせて約800人に(2022年度推計)。「小中連携で、教員の目が行き届く」と区は言いますが、本当でしょうか？先生方の負担も「大きすぎ」ます。「小さな学校」のメリットが、あるのです。

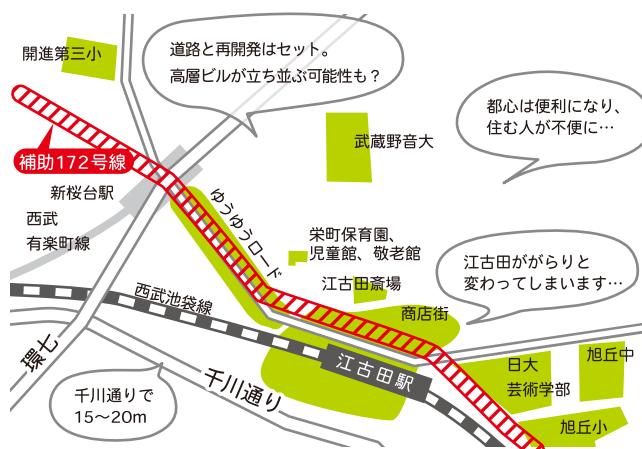
少子高齢化時代の学校の役割

教育は、社会の力の源泉です。子どもが少ないからこそ、一人ひとりを大切にすべき時代。小学校の役割は、ますます大きくなります。もっと豊かな視点から、最先端の小学校として建て直す。一刻も早い、区の“英断”を求めていきます。

「補助172号線」で江古田が分断！？

16m幅の道路で商店街が壊滅？

東池袋から、江古田北口駅前を通り、ゆうゆうロード、新桜台、桜台から笹目通りへ…幅16mの道路計画。江古田といえば、個性あふれる商店が魅力。その商店街をごそりなぎ倒すのが、172号の計画です。



買い物もしづらく

線路沿いで「黄色い電車」を眺める親子連れは、江古田の日常風景。そのそばに、16mもの道路！北と南が分断され、のんびり歩いての買い物もしづらくなります。子連れや高齢者等にも、厳しく…。

計画は、動いています

1964年という昔の計画が動き出し、西側は豊島園近くの早宮中央通りまで完成。練馬総合運動場の西側までが事業中です。豊島区側も、用地取得が進行中。2020年度までに整備終了の予定に（長崎1～5丁目）。



声をあげ、計画を白紙に！

豊島区が終われば、いよいよ次は、江古田。一度事業が始まれば、止めることは困難です。その前に、声をあげることが大切！車で通過するためではなく、住む人にとって暮らしやすいまちは、どんな形か。一緒に考え、守っていきませんか？



いぶき号外

発行：市民の声ねりま

市民の声ねりま事務所
〒178-0063 練馬区東大泉 5-6-9
TEL & FAX 03-5933-0108
Email siminnokoe@nifty.com

こうぐち
高口ようこ 連絡先

Email info@koguchiyoko.net
Web koguchiyoko.net
Facebook fb.com/koguchiyoko/
Twitter @koguchiyoko

あなたの力が
未来を変える

サポーター募集！



2018年1月